

合宿型自然体験学習の試み

New attempt of camp-type nature school

佐高専¹, 佐大教², 佐世保海洋スポーツ協会³ 重松 利信¹, 越村 匡博¹, 山崎 隆志¹,
里見 暢子¹, 小野 文慈², 松尾 晃³, 宮崎 有恒³,

National Institute of Technology, Sasebo College¹, Saga Univ.² SASEBO Marine Sports Asso.³,
Toshinobu Shigematsu¹, Kunihiro Koshimura¹, Takashi Yamasaki¹, Youko Satomi¹ Bunji Ono²,
Akira Matsuo³ and Aritsune Miyazaki³

E-mail: shige@sasebo.ac.jp

NPO 法人・佐世保市海洋スポーツ協会では約 20 年前から佐世保地区の子どもたちを中心に、合宿型の海洋スクールを行ってきたが、近年は参加する子どもたちが減少してきた。そこで、佐世保市海洋スポーツ協会の取組に佐世保高専も加わり、自然をテーマに合宿型で科学とマリンスポーツとを体験できる取組を 2012 年から行っている。

本取組の運営スタッフには、高専 4 年生の希望者を募り、地域活動ゼミと称する 1 単位の集中講義型の授業を用意した。

さて、本合宿型の体験「佐世保海洋探検隊」は夏休みの 7 月後半に 3 泊 4 日で行われる。場所は、佐世保から船で 20 分ほどの高島（世帯数約 50 軒）である。以下に日課表を示す（表 1）。

	午前	午後	夕方	夜
1 日目	開校式	マリン	科学体験	科学体験
2 日目	科学体験	マリン	集団活動	科学体験
3 日目	科学体験	マリン	集団活動	集団活動
4 日目	マリン	閉校式		

表 1 . 佐世保海洋探検隊のマリン体験と科学体験で構成された日課。

マリンとは、カヤックやシュノーケリングを中心に海で行う活動である。また、集団活動は演奏者を招待しての音楽鑑賞やキャンプファイヤー、班活動の発表会等である。

合宿する島は周囲 5 キロ程度の小さな島であり、島には番岳がそびえている。このような環境で、我々は科学体験を計画した。4 日間で科学体験の時間は 2 時間×5 回である。そこで、「海からの贈り物」「山からの贈り物」とテーマを分けて、科学体験を計画した。

このように合宿型の科学教室は例がなく、飽きさせない工夫に苦慮した。また、運営スタッフである高専の学生も共に合宿した。

本稿では、合宿型の科学体験を紹介すると共に地域活動ゼミの授業内容についても紹介する。